

「令和8年度診療報酬改定特別調査のデータの予備収集のお願い」

「1. 病棟および病棟における薬剤師の活動」

・貴施設の以下の病棟について、病棟毎に病床数、入院基本料等及び業務時間等の病棟業務内容をご記入ください。

業務時間(11月1ヵ月の1週間あたり)のうち、病棟ごとに、算定の有無に関わらず「①病棟薬剤業務実
施加算に相当する業務時間」「②薬剤管理指導実施件数」「③薬剤管理指導算定件数」「④退院患者数(死
亡退院を除く)」「⑤退院時薬剤情報管理指導実施件数」「⑥退院時薬剤情報管理指導算定件数」「⑦薬剤総
合評価調整加算実施件数」「⑧薬剤総合評価調整加算算定件数」をご記入ください。(③、⑥、⑧は算定し
ている場合のみご記入ください。)

「病棟薬剤業務実施加算算定可能となっている入院基本料・入院料の選択肢」 ○病棟薬剤業務実施加算の「1」及び「2」については、 A100:一般病棟入院基本料、A101:療養病棟入院基本料 A102:結核病棟入院基本料、A103:精神病棟入院基本料 A104:特定機能病院入院基本料、A105:専門病院入院基本料 A304:地域包括医療病棟入院料、A307:小児入院医療管理料 「病棟薬剤業務実施加算包括病棟となっている入院基本料・入院料の選択肢」 A106:障害者施設等入院基本料、A308:回復期リハビリテーション病棟入院料 A308-3:地域包括ケア病棟入院料、A311:精神科救急性期医療入院料 A311-2:精神科急性期治療病棟入院料、A314:認知症治療病棟入院料									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	病床数	主な 入院基本料・ 特定入院料等 (主要な1つを記入)	病棟業務内容 (実施していない場合は0と記入)								
			①病棟薬剤業務に相当する業務時間を選択肢から選び、記載してください (算定の有無に関わらず) (1)0時間、 (2)0時間を超える～20時間未満、 (3)20時間以上～40時間未満、 (4)40時間以上	②薬剤管理指導の実施件数 (算定の有無に関わらず)	③薬剤管理指導の算定件数	④退院患者数(死亡退院を除く)	⑤退院時薬剤情報管理指導の実施件数 (算定の有無に関わらず)	⑥退院時薬剤情報管理指導算定件数	⑦薬剤総合評価調整加算の実施件数 (算定の有無に関わらず)	⑧薬剤総合評価調整加算の算定件数	
1	床	A		件	件	人	件	件	件	件	

「3. 薬剤管理指導」

・入院患者への薬剤管理指導において、自己注射指導を行った件数(11月1ヵ月間)とその薬剤

(2) 入院患者への薬剤管理指導において、自己注射指導を行った件数(11月1ヵ月間)	件数
	件
(3) (2)において指導を行った、薬剤について該当するもの全てにチェックをつけてください。	
☐ 1:糖尿病薬、 ☐ 2:自己免疫疾患治療薬、 ☐ 3:片頭痛予防治療薬、 ☐ 4:アレルギー・皮膚疾患治療薬、 ☐ 5:骨粗鬆症治療薬、 ☐ 6:成長ホルモン分泌不全症治療薬、 ☐ 7:血液凝固因子製剤、 ☐ 8:血栓塞栓症治療・予防薬、 ☐ 9:肝炎治療薬、 ☐ 10:認知症治療薬、 ☐ 11:家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症治療薬、 ☐ 12:その他()	

・直近 3 ヶ月(9 月～11 月)に、入院中においてバイオ先発品からバイオ後続品に切り替えた件数

(4)直近 3 ヶ月(9 月～11 月)に、入院中においてバイオ先発品からバイオ後続品に切り替えた件数	件数
	件

◎「5. ポリファーマシー対策」

・薬剤管理サマリー等の文書による薬剤情報連携を実施しているが、薬剤総合評価調整加算を算定できていない件数(11 月 1 カ月間)

(3) 薬剤管理サマリー等の文書による薬剤情報連携を実施しているが、薬剤総合評価調整加算を算定できていない件数	件
---	---

◎「7. がん化学療法・無菌調製」

・外来腫瘍化学療法診療料 2 を算定している場合、無菌製剤処理料 1 の「イ」を実施した上で、患者への投与時にも閉鎖式接続器具を使用している件数(11 月 1 カ月間)

(4) 貴施設で外来腫瘍化学療法診療料 2 を算定していますか。	○1:算定している (A) へ ○2:算定していない (5) へ
(A) 外来腫瘍化学療法診療料 2 を算定している場合、無菌製剤処理料 1 の「イ」を実施した上で、患者への投与時にも閉鎖式接続器具を使用している件数(11 月 1 カ月間)	件

◎「8. 救急」

・薬剤師が救急外来で業務を行っているまたは電話対応等による情報提供を行っている場合、任意の 11 月中 1 週間における実働人数と業務時間

(C) 薬剤師が救急外来で業務を行っているまたは電話対応等による情報提供を行っている場合、任意の 1 週間における実働人数と業務時間	実働人数	業務時間
	人	時間

◎「11. 転院転所後・在宅移行等」

・令和 8 年 6 月～11 月中に、在宅患者に対して、同一保険医療機関内での医師・薬剤師にて同時訪問があった場合の実施件数と処方変更等の介入を行った件数

(5) 訪問診療薬剤師同時指導料は、異なる医療機関の医師と薬剤師が同時訪問することで算定をすることができますが、令和 8 年 6 月～11 月中に、 <u>同一</u> 保険医療機関内での医師・薬剤師同時訪問はありましたか。	○1:ある(→(A)へ). ○2:ない(→(設問 12)へ)
(A) <u>同一</u> 保険医療機関内での医師・薬剤師同時訪問の実施件数(令和 8 年 6 月～11 月中)	件
(B) (A) で <u>同一</u> 保険医療機関内での医師・薬剤師で同時訪問実施した場合、処方変更等の介入を行った件数	件